

「奉仕」できれいになるのは君の心だ

私事ながら、今年度、自分の住んでいる地域の自治会の役員を仰せつかりました。

自治会の戸数は全部でわずか83戸。田園地帯ですので、元々は専業農家の家庭がほとんどだった自治会です。今は、兼業農家だったり、田畑は爺ちゃん婆ちゃんに主として任せていたり、農業を完全にやめた家もありますが、農家組合の役員が自治会の役員を必ず兼務していたり、自治会の行事の中には、農業と密接に関わる内容のものも含まれます。

その一方で、新たに土地を求めて家を建てた戸数も2割弱あります。私も、妻が近隣の自治会出身ではありますが、まさに後者組で、いわゆる新参者でした。しかし、私のような県外の間にも、自治会の他の皆さんからは何かとよくしていただきました。保育園、小中学校の子供会やPTA、父親仲間の野球チーム、子どものスポーツクラブ、地域行事への参加等を通して、互いの子ども同士だけでなく、私自身も老若男女いろんな皆さんと良好なお付き合いをさせていただいてきました。

去る1月の総会では、規定に基づいた選任の段取りで、役員の中でも会計を担当する三役に指名されました。微力ながら、これまでお世話になった恩返しと考え、快く引き受けることにしました。

自治会には、年間を通して、様々な行事や活動があります。定期的な役員会はもとより、諏訪神社(お宮)の春季・秋季祭礼、社の冬囲いと取り外し、子ども神輿、春・秋の一斉清掃、防災訓練、お宮参り、コミ協主催の各種行事への参加、等々。役員になって、いろんな方々と接する機会も増え、皆さんそれぞれの価値観も多様ですので、その調整や人間関係に多少やっかいで嫌なこともないわけではないのですが、自分の責任は最低限果たそうと考えています。

活動の中でも、「家並普請」は、ほとんどの家庭から男手が総出で参加する3月の定例行事です。「家並普請」、つまり、排水路の側溝

や水路の泥上げ・ドブさらいのことです。かなりの重労働ですし半日仕事ですので、日当(¥8000)とジュースも出ます。自治会にとってなくてはならない作業なので、別に日当うんぬんではなく参加して当然のものと受け止めてきたので、これまで参加しないことはありませんでした。私以外の皆さんも同じ考えだと思います。この行事が済むと、春の訪れをひしひしと感じます。しばらくすると、田んぼに水が入ってすぐに田植えの季節がやってくるのです。

また、上記にも示した通り、私の居住地のコミ協ではすべての自治会が参加しての一斉清掃、つまりゴミ拾いが年3月と10月の2回実施されます。これは完全なボランティアです。

私はこれまで特段の用事がない限り参加してきましたが、いつも感じるがあります。それは、参加している方のほとんどが、高齢者、そして、いつも決まった人間ばかりだということです。一番のネックは開始時間なのかもしれません。朝の6時からなのです。働き盛りのお父さんやお母さん方は、せっかくの休日、ゆっくり休んでいたいのでしょう。どんなに寝て寝ても寝足りないと感じる年頃の小学生や中学生も然りなのだと思います。それはそれでよく理解できます。

でも、時々、お父さんとお母さんと参加している小学生の家族を見かけます。ゴミを拾いながら、ザリガニを見つけて喜んだり、花の名前を確認したり、会話が弾んでいます。とても微笑ましい限りです。しかし、こういう光景は本当に極々まれなのです。

さて、昨年度1月末に、中学校で「荻川ブロック青少年育成協議会役員会」を実施しました。事務局である中学校と参加した自治会長さん方とで、この4月21日実施予定の第38回秋葉区クリーン作戦について話し合いの機会をもちました。

参加した何人もの自治会長さんから、私の自治会と同じような声があがりました。つまり、「クリーン作戦に若い人の参加が少ない。」「特に中学生の姿を見たことがない。」「参加した人にジュースやお菓子を配ったりして工夫しているが、年々参加者の確保が難しい。」などと。

今年度の教育ビジョンで、生徒の人間形成の「根っ子」の部分である、基本的な生活習慣の確立・規範意識の醸成に向けての7つの栄養素の一つとして、「奉仕」を掲げました。

「奉仕」とは、言うまでもなく、自分の利益を追求せずに、他者や社会のために無償で行う行為や活動のことです。しかし「奉仕」とはやっかいな代物です。なぜなら、その人の自主性や自発性に大きく委ねる部分が多いからです。単純に強制力を与えられる類のものではないからです。

では、本当に「奉仕」には何の利益も見返りも無いのでしょうか？ そんなはずはないのです。汗を流したあとの清々しさ・爽快感、誰かのためになったに違いないという自己実現の喜び、カッコいい自分を自分で褒められる最大の場面、必ずや、自分なりの小さな「ガッツポーズ」を獲得できるチャンスだと捉えています。

つまり、「奉仕」は他者や社会のためではなく自分のためなのです。「“情け”は人のためならず」ということわざがあります。人に親切にすれば、その相手のためだけでなく、やがてはよい報いになって自分に戻って来る、という意味です。まさに、「“奉仕”も人のためならず」ではないでしょうか。

そして、「奉仕」がどんな意味をもつのか、どれほどの価値があるのかは、「奉仕」をした者にしか感じることはできないはずです。要するに、参加することに意義があります。参加した者にこそ、その価値の真価がわかるはずです。

まずは行動しましょう。とりあえずアクションをおこしましょう。4月21日の秋葉区クリーン作戦、ぜひ参加してみてください。できれば家族総出で。

また、学校の「清掃」こそが、私たちの一番身近で大切な「奉仕」です。清掃を学校の教育活動から無くす学校も増えている昨今ですが、当校は、週2回10分ずつとはいえ、大切な教育活動だと考えています。黙々と取り組んでください。

私は勉強やスポーツができることよりも、一生懸命「清掃」に取り組む方が、数段カッコいい生徒の姿だと信じて疑いません。

「奉仕」できれいにするのは、「奉仕」できれいになるのは、あなた自身の「心」そのものなのです。